

# Plus Ultra



菅山小学校 3年学年便り  
7月号(第7号)  
令和5年7月11日

夏休みまであと2週間ほどになりました。最近の3年生は、水泳の学習やチャレンジテストを頑張っています。苦手なことに対して、諦めずに何度も挑戦する姿がとても素晴らしいです。

今回の授業参観では、国語の授業を行います。クロームブックを使って俳句を作る予定なので、お子さんの文字入力のサポートをしていただけたらありがたいです。場所は3年生の教室です。

13:05~13:50 (5時間目)	国語 季節の言葉~夏の俳句コンテスト~
14:10~15:20	学校保健委員会 (3年教室・meet)
15:30~16:00	学級懇談会 (3年教室)

## ○社会見学の様子 (スーパーラック)



○お茶のいれ方教室の様子



○4日に行われた「お茶のいれ方教室」の記事が静岡新聞に掲載されました！（5日の朝刊）

茶を郷土の自慢に  
牧之原  
品評会に児童招待

牧之原市認定農業者協会（今村剛宏会長）は4日、一番茶品評会を同市の相良総合センター「い〜ら」で開いた。特産のお茶に親しんでもらおうと、地元小学生を招待し、審査風景の見学や茶の入れ方教室を開催した。

市内8校の3年生330人を招待した。児童らは会場にずらりと並ぶ茶葉に触り、「あらさらしている」「お茶の良い香りがする」などと話し、生産者ごとに異なる特徴を確かめた。入れ方教室では地元生産者の指導を受けながら、おいしく飲むためのポイントを実践した。

品評会には協議会員の工場から計64点の出品があり、外観、水色、香气、滋味の4項目で審査した。協議会の今村会長は「レベルが高く全体的にバランスの良い仕上がりと感じた。子どもたちにはお茶を郷土の自慢の一つとして感じてもらうたいらうらしい」と話した。

茶の品質の違いを確かめる児童  
＝牧之原市の相良総合センター「い〜ら」